

## ☆第8回 “地域でつくる平和と共生” フォーラム ☆

2008年5月22日（木）午後6時30分～8時30分



カンシル 康実さん（済州島4・3事件犠牲者遺族会 会長）

中村 大蔵さん（特別養護老人ホーム園田苑 施設長）

リサンジェ 李相済さん（聖トマス大学 人間文化共生学部 准教授）

参加者：約50名（地域の方々・学生・教職員）

### 「済州島 4・3 事件」を知っていますか？

いまから60年前の1948年4月3日より韓国の済州島で島民3万人が虐殺された、いわゆる「済州島4・3事件」について、日本では、ほとんど知られていません。

韓国建国前夜、アメリカ主導で進んでいた南朝鮮の単独選挙に対し、南北分断につながるものとして抵抗した島民たちは、時の韓国軍、警察、右翼により弾圧を受け、1954年9月に至るまでに推定約3万人が虐殺されたといわれています。さらに、この事件は歴代政権より「アカの島」で起きた「共産暴動」とみなされ、生存者たちは長く沈黙せざるを得ませんでした。しかし、民主化後の韓国で歴史の「見直し」が進むなか、2000年には事件の真相糾明と犠牲者の名誉回復を図るいわゆる「4・3特別法」が制定され、2003年にノ・ムヒョン大統領による政府の謝罪が実現し、現在、遺骸の発掘と犠牲者の認定調査が進んでいます。

今回のフォーラムでは、「済州島4・3事件」当時10歳の少年だった尼崎市在住の康実さんをお招きし、この事件に巻き込まれご家族を失われたお話などを直接うかがうことから、改めて平和の尊さを再認識しました。

「わたしの人生」

キム ヨンジャ  
金連子（仮名）

チェジュドで

リシヨウバンだいたいよりよりのじぶんに

北からのしそが入ってきて

くうやくわずのさいていのせいかつから

わかい人たちがたち上がったんです

そういう人たちを

リシヨウバンは

ぜんぶころした！

そのどうらんおきたのが

十四才のときです

わたしのうちは

いなかでもかなりの家で

大きなくだものばたけに

牛や馬が何百とうもいました

うんどうじょうのようなにわの中に

なんげんも家があるような

りっぱなやねの家でした

四月のすえだつたとおもいます

しそを おうえんする人たちが

山おくへ 上がっていった

いなかのわたしのうちが

ほんぶになりました

お父さんは

わかい人たちを

おうえんして

するがままにさせていました

そのお父さんが

牛や馬の見まわりをしていて

へいたいにうちころされました

おもちゃこわすみたい

ころされました

三ばんめのねえさんは

一人ですばんしているときに

へいたいがやってきて

うちころされました

十九才でした

二ばんめのねえさんは

あかやと言われて

けいさつにつれていかれ

水のいつてきシャツの一まいも

さしえれさせてもらえず

しまいにはどこでどうころされたのか

したいもわかりませんでした

一ばん上のいさんも

けいむしよに何十年もいれられました

お母さんは

家からけいさつにつれていかれ

けいさつの前のはたけで

うちころされました

その時は何十人もころされました

おとこもおんなも

おりかさなつて死んでました

十四才のわたしは

したいを一つずつ

これあけて あれあけて

というふうひつくりかえして

お母さんをさがしました

いかげんな時は

なんでもないことでも

よう泣いてるのに

あんな時は泣かれんもんです

あれをどうしよう

これをどうしよう

と思ひながら

つぎつぎ したいをひつくりかえし

とうとう お母さんをみつめました

お母さんは

やすらかなきれいなかおを していました

お母さんを けいさつのはたけにうめ

めじるしに 石をおきました

そして

あくる年に したいをほりかえし

まともなところに うめなおしました

山おくで そういうことがあったから

リシヨウバンは いなかの人ぜんぶ

下におりてくるように めいれいし

おりてきたら

いなかの家を

ぜんぶ もやした

おりてきた人たちは すむばしよもない

みんな みちばたに ねてました

わたしは みうちの家に ひきとられました

## 参加者アンケートより

- ◆ 4・3 事件は今回このフォーラムのポスターを見て初めて知りました。たくさんの方が犠牲になっただけでなく、その後の差別などがあったという話がとても印象的でした。 私たちはこれを聞いてただ歴史としてとらえておわりではなく、カンさんもおっしゃったように、二度と繰り返さない義務があると思いました。 (20代 女性)
- ◆ 途中から参加しましたが、康実さんのお話を聞いて良かったです。李徳九さんがどういう人であったのか、これまで知ることができなかったのですが、今日は人柄なども含めて少し触れることができましたように思います。濟州島出身の祖父母をもつ在日として、4・3 事件のことはこれからも考え、伝えていくべきことだと改めて感じました。 (20代 女性)
- ◆ 正直な話、濟州島のこの事件に関して、私は全くと言っていいほど知りませんでした。初めて知る悲惨な事実を、当時を知る方の口から聞き、大変衝撃を受けました。話の途中でも挙がりましたが、戦争を直接体験した方々の話を直接聞ける機会・時間はもはや限られたものになっています。「今、聞かなければ」「今、考えなければ」「今、知らなければ」という思いを強く感じました。 (20代 男性)
- ◆ 康さんの言われた、「人間が人間を殺す」これ程むごい事はない、私もそう思います。世界中が平和になる事を心から願います。 (60代 女性)
- ◆ 全世界の戦争現場、もしくは戦後のすさまじさは昔も今も、変わらず悲しくあわれで、非人間的だと思います。どんなに良い人間でもその時代のその場所におれば、誰でもなりうる事だと思い、すごく恐い。平和である現在は冷静に判断ができ、冷静に行動ができる様な気がします。お話を聞いて人間のその場その場のしるぎ、人間のもろさを感じました。人間の命の大切さ、重さを痛感しました。 (60代 女性)

- ◆ 日本の軍国主義・軍隊が、このような形で、昭和20年の終戦後もお隣の国に影を落として、このような悲劇があったことを初めて知りました。今日は、お話しになるのも辛いことを、私たちのために一生懸命語ってくださる康さんのお姿に感動しました。四・三事件は、今も続いており、その影響を受けた人が、日本にたくさんいらっしゃるのですからけして風化させてはいけないのだということがよくわかりました。李徳九さんが立派な方だったということ、人の命の大切さ、貧困が最大の暴力だということもよく理解できました。 (50代 女性)
- ◆ 4・3 事件は根底に思想問題があると、間違っただけの思い込みがありました。本人の康さんのお話で濟州の人達の気持ちがそんな共産主義思想とは一線を画すものだったことが良くわかりました。肉親が目前で虐殺されるという経験を伺って、司会の李先生と同じく涙を抑えられませんでした。康さんの今後ますますのご活躍を祈ります。 (60代 女性)
- ◆ その当時の状況がよくわかりました。また島の人々は何も悪いことをしていないのに殺されることになった。同胞同志の戦いというより、植民地支配していた日本やアメリカが関わっていたという、政治軍隊の背景があったこともわかった。侵略した日本が敗戦になった後貧困が残った。人が人を殺すということを考えさせられた。“平和”を守るという難しさを感じた。 (40代 女性)
- ◆ 今も名前を刻まれることが許されていない身内への熱い想いを語る康さんに心打たれました。やはり体験者の生々しい語りを聴くことは大切だと思います。人間のむごさすごさを学びました。ありがとうございました。 (50代 男性)
- ◆ 知らないことが多くて勉強になりました。私の故郷も濟州島なのでもっと学ぶべきだと思います。貴重なお時間ありがとうございました。 (10代 女性)

## 「濟州島4・3事件」年譜

- 1945. 8. 15 「開放」⇒自立独立運動始動 『朝鮮建国準備委員会』設立
- 8. 24 ソ連軍ピョンヤン進駐
- 9・6 「朝鮮人民共和国の樹立」の宣言
- 9. 8 アメリカ軍インチョン上陸
- 9. 9 アメリカ軍ソウル進駐
  - ・ 『朝鮮建国準備委員会』 ⇒ 『人民委員会』へ
  - ・ アメリカ軍は占領統治において人民委員会に依存 → やがて、左翼組織として弾圧へ
- 9. 23 濟州島に人民委員会創設
- 1947. 3. 1 「3.1 独立運動 28 周年記念式典」(処：濟州島) 3 万人参加  
街頭デモに警察発砲 → 6 人死亡
- 3. 10 全島的ゼネスト 4 万人参加  
警察、右翼青年団による白色テロの嵐
  - ・ 朝鮮独立問題・・・  
国連(アメリカ主導)で朝鮮南部だけでの単独選挙が 1945. 5. 10 に予定 → 南北分断体制固定化回避のため、南朝鮮各地で反対闘争展開
- 1948. 4. 3 「武装隊」(左派)による警察署、右翼事務所襲撃(数十人死亡)
- 4. 28 休戦協定「4. 28 協商」
- 5. 10 単独政府樹立のための代議員選挙が濟州島 2 区で投票率 50%以下で無効に  
→ 過酷な鎮圧作戦開始
- 11 月 濟州島に戒厳令・「焦土化作戦」開始
- 1949. 春 「武装隊」ほぼ壊滅 → しかし虐殺は続く
- 1950. 6. 25 朝鮮戦争勃発(停戦 1953. 7. 27)
  - ・ 戦後「アカ狩り」始まる
- 1954. 9. 21 漢拏山禁足地域の全面開放宣布

<犠牲者> 1954. 9. 21 までにおよそ 3 万人が、虐殺されたといわれている。  
(1957 の完全鎮圧までにはおよそ 8 万人が虐殺されたといわれている)

- ・ 約 4 万人が日本へ逃れた。
- ・ 事件前には約 28 万人いた島民が、1957 年には約 3 万人に減少したといわれる。

## 「濟州島4・3事件」のその後

- ・ 歴代政権下で、生存者は「アカ」の嫌疑をかけられた。  
→ 事件の潜在化(タブー視) → 公的責任が追及されてこなかった。
- ・ 1980年代来の民主化のうねりの中で、「体験」が語り始められる。
- ・ 犠牲者の8割以上は「討伐隊」(右派)が殺害。  
その多くは武装抗争と直接関わりのない人々であることが明らかになってきた。
- ・ 2003. 10 ノ・ムヒョン大統領が島民と懇談会で謝罪。
- ・ 2006. 4. 3 犠牲者慰霊祭に大統領として初参加し、正式謝罪。  
事件の真相解明を宣言。